國學院大學　法学会

2025年度 國學院大學 法学会懸賞論文 受賞者

２０２６年２月１２日

今回の法学会懸賞論文には、15点（法律系8点、政治系7点）の応募がありました。法学会で、厳正に審査した結果、次の学生諸君が入賞しましたので、ここにその栄誉をたたえ、発表いたします。

受賞者・論文題目　（同賞は氏名50音順）

最優秀賞　（なし）

優秀賞　榎本 凜子　（3年）

再審請求審及び請求準備段階における証拠アクセス権限の拡大

優秀賞　茅野 静秀　（3年）

在日米国商工会議所をはじめとした経済団体による
ロビイングが電気通信事業法改正に係る利用者情報の
規律案を緩和した事例研究とその成功要因に関する分析
―経済安全保障などの争点をめぐり電気通信事業ガバナンス検討会を軸としたロビイングが外部送信規律・適正な取り扱い規律に関する政策決定に及ぼした影響―

佳作　梶井 康佑　（2年）

若年層の投票率の低さについてプロスペクト理論的視点からの分析

佳作　川本 和宏　（3年）

生成AIの台頭による著作権意識の変容
近代的所有権の限界と共有知

佳作　宮井 恵名　（4年）

再審における訴因変更の許否
―再審請求審における明白性判断において訴因変更の問題が関わる場合の問題点に関する検討―